

創る、巡る、贈る



福島県大熊町

2026

広報おおくま

4

No.645



- 今月の表紙 -

3.11 のつどい

(掲載記事 11 ページ)

特集 / 施政方針 / 令和 8 年度当初予算

まちの話題 8 ページ | お知らせ 14 ページ | すこやかライフ 26 ページ

令和8年度 施政方針

3月3日から13日まで開かれた町議会3月定例会で2026(令和8)年度の施政方針を吉田淳町長が表明し、4月からの町政運営の基本方針、重点施策、予算額を説明しました。

紙面では一部を抜粋して掲載します。全文は町公式ホームページからご覧ください。



令和8年度は、第3期復興・創生期間の初年度になります。東京電力福島第一原子力発電所や中間貯蔵施設などを抱え、大熊町の復興はまだまだ道半ばであり、今後もさらに復興を加速させる取り組みを推進してまいります。

また、同時に最も大事なことは町の存続であります。全国の地方自治体で人口減少により市町村自体の存続が危惧されている中、当町では、国からの交付金等により多くの事業を実施していますが、これも永久に続くわけではありません。その先を考えると、人口の増加や雇用と税収を担う企業の増加が必須であり、このことを考慮しながら施策を実施してまいります。

本年は東日本大震災と原子力災害から15年を迎えます。この長い年月の間、故郷大熊町を想い、歯を食いしばって歩んでこられた町民の皆さま、そして温かいご支援をいただいた全ての皆さまに、改めて深く敬意と感謝を申し上げます。

令和8年度は、復興のその先にある未来を私たちの手で確かなものにするための挑戦の年であります。帰還された方々、新しく大熊町を選んでくださった方々、そして離れて暮らす方々。それぞれの想いを紡ぎ合わせ、誰もが誇りを持てる新しい大熊を築くために、これまで以上に、職員一同一丸となり復興の歩みを進めてまいりますので、議員各位をはじめ、町民の皆さまのさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。



大熊町長

吉田 淳



町政懇談会

町の状況が刻々と変化する中、町の取り組みをお知らせするとともに広く皆さまのご意見・ご要望を伺う機会を持ちたく、令和8年度は、町政懇談会を開催いたします。できるだけ多くの皆さまにご参加いただき、町民の皆さまの生の声を今後の町政に反映させていきたいと考えております。

町内の整備計画

大野駅周辺のにぎわい創出

令和2年度より始まった、下野上地区一団地事業の基盤整備が令和8年度に終了する予定であり、それに合わせ、さらなる駅西エリアのにぎわい創出のため、宿泊施設や事業者向け貸事務所の誘致を図ってまいります。さらに、駅東側住宅エリアにおいては民間事業者と連携し、住宅整備の取り組みを進め、JR大野駅周辺全体の活性化を図ります。

道の駅周辺整備

大熊インターチェンジ周辺の利活用については、常磐道の休憩施設に加え、道の駅などの地域振興施設を一体的に整備し、大野駅周辺との相乗効果を生み出せるよう計画の推進を図ります。

特定帰還居住区域の拡大

令和5年度に、国より認定を受けた特定帰還居住区域復興再生計画を令和8年3月中に変更できるように手続きを進めます。それに伴い区域の拡大を図りつつ、国に対象区域の除染工事を早急に進めるよう求めるとともに、町内における上下水道や道路といった基幹的な生活インフラの復旧工事を進めてまいります。

しかしながら、これですべてが解決するわけではありません。帰還意向のない土地や家屋などの取り扱い、さらには農地の取り扱いについても重要な課題であります。町としては、これらの課題解決のため、引き続き国と協議を重ね、町内全域の避難

指示解除に向けて努力をしております。

産業振興による町内の買い物環境改善

原地区のスーパーマーケットマルト大熊店について、設計や施工方法等の工夫により、当初の開業予定を大幅に前倒しし、本年10月2日の開店に向けて整備工事を進めてまいります。

その他、西大和久地区一団地事業エリアにおける商業エリアや産業エリアの整備と企業誘致方針の策定を進めるとともに、既存の中央産業拠点や西工業団地への積極的な企業誘致に取り組み、雇用創出など地域経済の活性化を推進してまいります。

税務関係

令和8年度も適正な課税に努めるとともに、被災者の負担軽減を図るべく引き続き減免措置を講じてまいります。

なお、これまで周知してきましたとおり、中屋敷・大川原地区の固定資産税については、令和8年度から通常課税とし、特





定復興再生拠点区域については、令和8年度から3年間、50%の課税をお願いすることになります。

町内での 子育てをサポート

子育て支援については、4月から全国一斉に「こども誰でも通園制度」がスタートし、当町でも認定こども園学び舎ゆめの森で運営が開始されることとなります。保護者の支援と子どもの育ち応援の両方を目指すもので、6カ月から3歳児未満の未就園児を、保護者の就労要件を問わず、月10時間まで預けることができる制度です。本制度を着実に実施し、移住等により増加する町内子育て世帯を応援してまいります。

地域に寄り添った 計画の策定

令和9年度からの高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画について、令和8年度に策定を進めてまいります。今後、地域における支え合い機能の低

下が懸念され、身近に支援者がいないなど、支援が届きにくい高齢者への対応は喫緊の課題であると認識しております。特に介護保険事業では、高齢者の見守り、適切な生活支援および介護支援を進め、より一層町民に寄り添った地域包括支援事業の展開に努めてまいります。

除染土の 県外最終処分を着実に

昨年8月に国から県外最終処分に向けたロードマップが示されましたが、当面5年間の工程であることから、県外で最終処分を完了させるために必要な除染土の再生利用および最終処分地の選定等、2045年3月までのより具体的な工程の提示と県外最終処分に向けた動きをさらに加速させるよう国に求めてまいります。

町内の居住環境支援

帰還者や移住希望者による住宅需要の増加に対応するため、町内にアパートや戸建て賃貸住宅を建設する際の補助事業をし

ております。住宅の取得や修繕、賃貸住宅に居住する際の家賃や転居費用に対して支援することにも、宅地分譲の募集を行うなど、帰還者、移住者の住まいの確保に向けた総合的な取り組みを展開してまいります。

移動の利便性を向上

町内における移動支援として運用している生活循環バスについて、利用者の増加を見据え、新たに中型バスを導入することに加え、町内においても広域的に住宅の整備が進んできている状況を踏まえ、大野駅を起点とする町の東西を結ぶバスの路線を新設し、町民や来町者の利便性向上に努めてまいります。

生業としての農業を促進

令和7年度から特定復興再生拠点区域でも本格的に営農が再開されたことで、昨年の耕作面積は約130haとなり、着実に営農再開が進んでいるところがあります。

昨年度に引き続き営農再開者や農業生産法人などへの支援を





継続的に行うことで、耕作面積の拡大を図るとともに、さらなる担い手の確保のため、新規の参入希望者に対する営農相談や農地のマッチングにつきましても、精力的に努めてまいります。

インフラ整備

町内のアクセス向上と地域拠点間の連携強化を図るため、新たな道路整備を進めます。具体的には、駅前と大川原エリアを結ぶ町道西27号線の設計作業を加速させるとともに、大熊インターチェンジと大野駅を結ぶ町道西20号線についても、その設計作業を着実に進めたいと思います。

また、国道6号と浜街道を結ぶ地域内の交通ネットワークを強化する重要な路線である町道東63号線の工事を継続して推進し、早期の供用開始を目指してまいります。

子どもたちに特色ある教育を

町内での教育活動が再開され、間もなく3年が経過いたします。学び舎ゆめの森で学ぶ子どもた

ちも令和8年1月現在で100人となり、再開時の26人から、3年間で約4倍の人数となっております。

今年度は、震災・原発事故から15年が経過し、その風化が問題視されていることから、風化を防ぐため、防災・減災教育を「学校設定科目」として、教育課程に位置付け、積極的に取り組むことを推奨し、子どもたちが「自らの命を守り、仲間と協力して生き抜く力」を育くんでまいります。

町の歴史をつなぐため

令和7年度に「大熊町文化財保存活用地域計画」を策定し、文化庁の認定を受け、通常の文化財に加え震災の遺構や震災の影響で失われつつある文化や伝統なども大熊町資料として保存と活用をすることにしました。これまで課題であった町の生活や文化に関する記憶の継承についても前進したのではないかと考えます。本年度も大熊町に係る記憶を保存し未来につないでいく取り組みを進めてまいります。

町内で楽しいスポーツのひとときを

現在策定を進めておりますスポーツ推進計画に基づき、町民の皆さまが心身ともに健やかに暮らし、町内外でスポーツに挑戦し、楽しみ、応援する機会を広げ、スポーツに親しむ環境と仕組みを構築するとともに、令和7年度から一部造成工事に着手している西大和久地区一団地事業で、災害時に対応できる復興防災緑地を整備し、通常時はパークゴルフ場として活用してまいります。

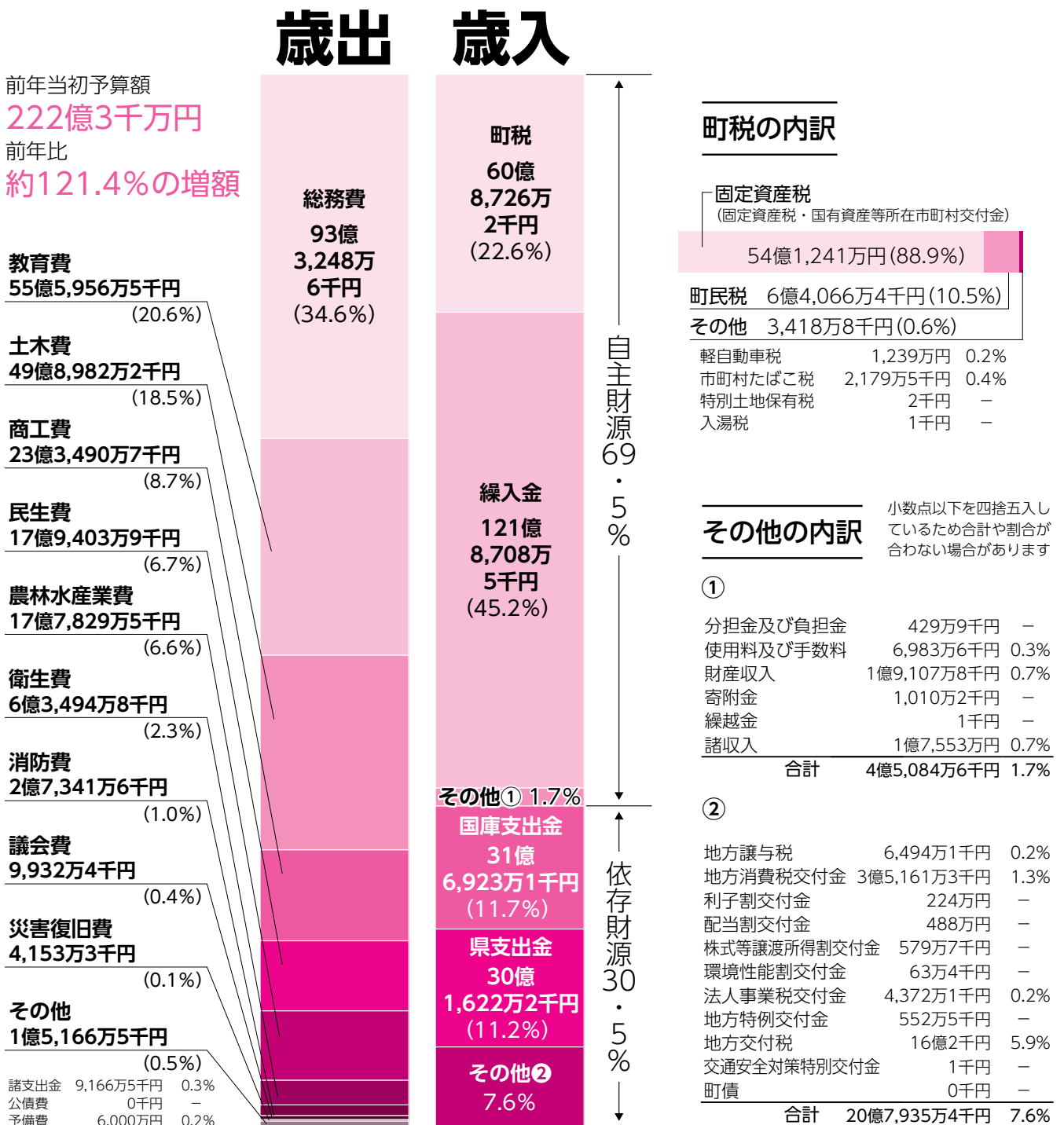
他にも、原・旭台地区において、運動公園の整備事業をスタートさせます。令和7年度末には都市計画決定を行い、どのような運動施設が必要なのか等さまざまな角度から検討を行い、ついでに、地権者の皆さまのご理解をいただきながら計画策定を行ってまいります。



令和8年度 大熊町の当初予算 一般会計 269億9千万円

3月に開催した第1回大熊町議会定例会で、令和8年度一般会計当初予算、7つの特別会計および2つの公営企業会計当初予算が可決されました。

社会教育複合施設整備事業(約37億円)、復興拠点整備事業(約21億円)、西大和久地区整備事業(約15億円)等の主要施策に取り組む予算編成となっています。一般会計当初予算の額は昨年度よりも47億6千万円増額の、269億9千万円となりました。



主な事業と予算額

総務費

西大和久地区整備事業	15億6,590万5千円
特定原子力施設交付金(事業運営)基金費	10億5,100万1千円
ゼロカーボン推進事業	10億3,549万1千円

民生費

自立支援事業	3億1,655万9千円
児童手当支給事業	2億2,221万2千円
介護保険事業特別会計繰出金	1億9,759万円

衛生費

環境衛生費広域負担経費	1億58万円
予防費一般経費	7,794万7千円
健康増進事業	7,450万1千円

農林水産費

農地防災整備事業	7億7,715万2千円
農業集落排水事業費	2億5,078万7千円
農地費一般経費	2億2,207万5千円

商工費

大型商業施設整備事業	13億736万4千円
駅西施設管理事業	3億6,342万9千円
交流ゾーン管理事業	2億6,388万5千円

土木費

復興拠点整備事業	21億5,596万3千円
道路維持費	7億9,365万4千円
住宅促進事業	7億6,024万2千円

消防費

常備消防費一般経費	2億451万1千円
防災対策一般経費	3,485万2千円

教育費

社会教育複合施設整備事業	37億1,281万1千円
学校給食施設整備事業	10億3,586万7千円

災害復旧費

林業等施設災害復旧事業	2,494万円
公共土木施設災害復旧事業一般経費	1,650万円

諸支出金

国民健康保険特別会計繰出金事業	4,196万3千円
坂下ダム施設管理事業特別会計繰出金事業	2,606万1千円

用語解説

自主財源	…町税や手数料など町が自らの収入にできる財源
依存財源	…国や県が定めた額を交付・割り当てられた財源
繰入金	…一般会計と特別会計、基金等の中で移動するお金
町税	…町民税や固定資産税など皆さんが納めた税金
国庫・県支出金	…特定の町事業に対して国や県から交付されるお金
地方譲与税	…国が徴収した国税を地方自治体に譲与するお金
議会費	…議会の活動に要する経費
総務費	…人事、企画、財政、戸籍、統計や交通安全など、他部門に分類されない経費
民生費	…社会福祉、児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、生活保護、国民年金、災害援助などの経費
衛生費	…保健衛生、母子保健、廃棄物処理、公害対策などの経費
農林水産業費	…農業、林業、水産業の経費
商工費	…商工業の振興、観光振興などの経費
土木費	…道路維持、都市計画、復興拠点整備事業、災害公営住宅管理などの経費
消防費	…消防、防災事業などの経費
教育費	…学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの経費
災害復旧費	…大雨、暴風、地震などの災害復旧に要する経費
公債費	…地方自治体の借入金の元金と利子を支払う経費
諸支出金	…他の歳出科目のいずれにも分類されない経費

特別会計

①坂下ダム施設管理事業	8,650万円
②国民健康保険	19億4,899万円
③奨学資金貸与	1,434万8千円
④工業団地造成事業	549万2千円
⑤介護保険事業	11億6,972万7千円
⑥後期高齢者医療	5,202万2千円
⑦霊園管理事業	2,225万3千円
合計	32億9,933万2千円

公営企業会計

次の事業は令和8年度から公営企業会計に移行しました。

○特定環境保全公共下水道事業	
収益的収支	収入：242,731千円 支出：242,738千円
資本的収支	収入：96,000千円 支出：96,000千円
○農業集落排水事業	
収益的収支	収入：133,127千円 支出：111,466千円
資本的収支	収入：186,787千円 支出：224,800千円



学び舎ゆめの森が正賞受賞 第41回福島県建築文化賞表彰式

地域の周辺環境に調和し、景観上優れた県内の建築物を表彰する、第41回福島県建築文化賞で町立学び舎ゆめの森が最優秀賞にあたる正賞を受賞しました。0～15歳が共に遊び、学ぶという教育理念を建築で支え、これまでにない教育環境を実現したことが高く評価されました。表彰式は2月5日、福島市の杉妻会館で開かれ、吉田淳町長が内堀雅雄知事から賞状を受け取りました。吉田町長は受賞者あいさつで「震災から12年を経て帰還した教育施設が評価されたことは、大きな励みとなる」と述べました。



1 受賞者を代表してあいさつした吉田町長(右) 2 受賞者らでの記念撮影

販売開始から5年を迎える町特産の味を堪能

帰忘郷の新酒お披露目会

町特産品の日本酒・帰忘郷の新酒の完成を祝うお披露目会が3月7日、町交流施設 linkる大熊で開かれました。

おおくままちづくり公社の主催。新酒の完成を楽しみにしていた約40人が、ひと足先に町特産品の味を堪能しました。

会には、帰忘郷の製造を行う会津若松市の高橋庄作酒造店社長の高橋亘さん、シンガーソングライターで利き酒師の氏家エイミーさんが新酒の出来栄えについての講評や昨年の日本酒との味の違いについて話しました。また、シャンソン歌手の紗羽しゅうこさん、氏家エイミーさんが歌を披露し会場を盛り上げました。

帰忘郷の新酒の一般販売は3月11日から開始されています。



1 関係者らでの記念撮影 2 会場を盛り上げた紗羽しゅうこさんのミニライブ

都内イベントで町産品好評 ふくしまスイーツフェスティバル

産経新聞主催による、県産品の風評対策を目的とした「ふくしまスイーツフェスティバル」が、2月20日から23日まで都内の代々木公園で開催されました。会場では、大熊町、富岡町、檜葉町、広野町の4町の特産品を使用したスイーツが販売されました。

本イベントは、累計来場者数が200万人を超える「魚ジャパンフェス」と同時開催されました。

ふくしまスイーツフェスティバルのエリアでは、昨年8月にJヴィレッジで開催された「スイーツ甲子園・ふくしまチャレンジカップ」で選ばれた高校生と有名パティシエが監修した商品が販売されました。

大熊町は、3種類のキウイフルーツを使用したパフェを販売。2月とは思えない暖かな陽気

の中、来場者はさっぱりとした甘みのパフェを味わっていました。

また、各町のブースではそれぞれの特産品も販売されました。大熊町のブースでは、キウイのパフェを監修した「メゾンジブレー」が、ネクサスファームおおくまのイチゴを使用して作ったお菓子も販売。おやつやお土産用にと好評を得ました。



震災を悼む灯りつくる キャンدلづくりワークショップ



作品を手に記念撮影に納まる園児ら

認定こども園学び舎ゆめの森で2月20日、キャンドルづくりのワークショップが開かれました。

会津地方振興局の主催で、会津大学短期大学部准教授の葉山亮三さんと学生らが、園児たちに作り方をわかりやすく教えました。

ワークショップでは、東日本大震災の発生から15年となる3月11日に県立博物館で行われた祈念行事で灯すキャンドルを、園児たちが制作しました。

園児たちは、型に流し込まれたロウの上に色とりどりの飾りを付け、オリジナルのキャンドルを完成させました。

皆で遊んで盛大にお祝い 入学おめでとう会

来年度に義務教育課程へ進む年長クラスの園児たちを祝う「入学おめでとう会」が2月27日、認定こども園学び舎ゆめの森で行われました。卒園を控える園児6人が、0～5歳児クラスの園児や先生たちと楽しいひとときを過ごしました。

会では、紅白チームに分かれて行うオセロ勝負や、二人一組で協力して競うボール運びリレーなどを皆で楽しみました。

運動を楽しんだ後、年長クラスの6人には、園児皆で飾り付けをした集合写真が一人一人にプレゼントされました。写真を受け取った子どもたちは、楽しかった日々を思い返すように、うれしそうに写真を眺めていました。



プレゼントの集合写真を手にした園児ら

冬の醍醐味を楽しむ スキー・スノーボード教室

毎年冬の時期に開催されている、スキー・スノーボード教室が2月14日、北塩原村の裏磐梯スキー場で開かれ、38人の親子らが参加しました。おおくまスポーツクラブの主催。

参加者らは思い思いに冬ならではの雪の感触を楽しみました。ウインタースポーツが初めての子どもたちは、インストラクターに滑り方や止まり方を教わり、雪の上を滑る感触を楽しみました。



1 スキーに挑戦した参加者ら 2 ボードの付け方を教わる参加者ら

大熊町文化財保存活用地域計画認定を記念し特別開催

大熊学講座 vol.3

町は、策定を進めていた「大熊町文化財保存活用地域計画」が昨年12月19日に文化庁の認定を受けたことを記念して、同計画を題材にした「大熊学講座 vol.3」を2月14日、CREVA おおくまで開講しました。

計画策定にあたり協議会の委員を務めた、県考古学会会長の玉川一郎さんと医療創成大客員教授の夏井芳徳さんが、町の歴史や伝統芸能に関する講演をしました。講座には約50人が参加し、町の地域計画について理解を深めました。



講座を熱心に傾聴する参加者ら

ゆめの森アリーナでさわやかな汗流す おおくま球技大会

学び舎ゆめの森に通う児童や、町内でスポーツを楽しみたい近隣住民による球技大会が2月28日、学び舎ゆめの森アリーナで開かれました。



体格差をものともせずプレーしたバスケットボール

大会には約50人が参加し、4チームに分かれてバレーボール、バスケットボール、フットサルの3種目で競い合いました。

参加者は、町出身の鍼灸師・堀本大樹^{しんきゅう}さんが考案した、大熊中学校の校歌に合わせて行う「おおくま体操」で準備運動を行いました。加えて、北海道のご当地鬼ごっこ「バナナ鬼」で体を温めた後、競技に臨みました。

競技が始まると、会場は参加者の笑顔と声援に包まれ、和やかな雰囲気の中で白熱した試合が繰り広げられました。参加者たちは互いに声を掛け合いながらプレーを楽しみ、交流を深めていました。

犠牲者を悼み鐘鳴らす 3.11のつどい

東日本大震災と福島第一原発事故の発生から15年となる3月11日、犠牲者を追悼する「3.11のつどい」が町役場前広場で行われました。会場には多くの町民らが訪れ、献花台に花を手向けて祈りをささげました。

有志の会の松永秀篤代表が「あの日から15年がたったが、あの瞬間・風景が深く残っている。しかし、そこから立ち上がる力が湧いてきている。このつどいはただ過去を振り返るだけでなく、未来へとつなぐ時間です」とあいさつ。続いて吉田淳町長が犠牲者へ哀悼の意を表しました。

発災時刻の午後2時46分には、町消防団のラッパ演奏に合わせて参加者全員が黙とうをささげ、犠牲者の冥福を祈りました。

また、町内で地震や津波により亡くなった12人を悼み、鐘を12回打ち鳴らしました。

会場となった町役場前広場には、有志の会が折った2026羽の折り鶴が飾られ、震災の記憶と鎮魂の思いを未来へつなぐ場となりました。



1



4



2



3

- 1 消防ラッパに合わせて黙とうする参加者ら
- 2 献花台に向かい手を合わせ参加者ら
- 3 12人のため鐘を鳴らした会員
- 4 有志の会により飾られた2026羽の折り鶴

要望活動

町は機会あるごとに大臣や党中央幹部ら要人への要望を行い、町の実情に沿った支援や緊急を要する対策の実施などを求めています。詳細は町公式サイトでご確認ください。



町は、農林水産省に対して町の復興・再生に向けた要望・意見交換を行いました。

1月19日、新保隆志副町長は町内を訪れた広瀬建農林水産大臣政務官に要望書を手渡しました。

農林水産省への要望

1. 帰還困難区域の再生に向けた取組の実施
2. 農林水産業再生に向けた支援
3. 復興に向けた人員の確保



広瀬政務官(左)に要望書を手渡す新保副町長



移住に関する
情報



まちづくり公社
に関する情報

復興支援員ライフ

のぞいてみよう!



vol.7

コミュニティ再構築や住民の見守り・ケア、地域活性化支援などを通して、東日本大震災からの復興を手伝ってくれている復興支援員。そんな支援員の日々の業務をちょっとのぞいてみませんか？今回は岩元恵造さん、若井景さんをご紹介します。



岩元 恵造

【受け入れ企業】

おおくま未来

【担当】

新規事業(牧羊運営等)
の支援

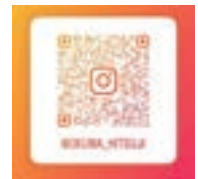


羊の世話をする岩元さん

【活動内容】

大熊ベリーを食べて育った羊たちがいる牧場「ウルスシープ」で、羊の飼育管理を担当しています。のどかな牧場でのおびのび暮らす羊たちの愛らしい姿や日常の様子をSNSで発信し、大熊町を訪れるきっかけづくりに取り組んでいます。見学をご希望の方は、1週間前までに公式Instagramへご連絡ください。羊たちとの穏やかな時間を、ぜひ体験しにいらしてくださいね。

Instagram



若井 景

【受け入れ企業】

ReFruits(リフルーツ)

【担当】

キウイ栽培による営農
活動支援

【活動内容】

2026年の初収穫に向け、日々キウイほ場で栽培管理を行っています。また、全国のおいしいキウイをイベント出店やECサイトで販売しており、多くの方にキウイの魅力を伝えられるよう活動しています。大熊産のキウイを使ったお菓子「シカクイキウイ」の製作、販売も始まりましたので、ぜひ多くの方に手に取っていただければと思います！



ほ場で作業する若井さん

「キウイの国」
HP



「キウイの国」
Instagram





OIC | OKUMA INCUBATION CENTER

大熊インキュベーションセンター



全文はこちらから

OICってどんなところ？

大熊インキュベーションセンター(OIC)は、どなたでもお気軽にご利用いただける施設です。

建物は、もともと大野小学校だった校舎を改装。懐かしさを残しながら、仕事や打ち合わせ、イベントなどに使える空間へと整備されました。

館内には、自由に過ごせる交流スペースがあります。無料で利用でき、本や新聞を読んだり、居合わせた人と話したりすることができます。静かな環境で作業に集中したい方向けのコワーキングスペースや、有料で占有利用できる会議室もあります。

OICは、新しい事業に挑戦する人や企業を支援する拠点でもあります。若手起業家から大企業まで、業種もさまざまな150社以上の企業が入居し、それぞれの事業づくりに取り組んでいます。

月に1回は、どなたでも参加できる食事交流会も開催しています。世代や立場を問わず集まり、食事を囲みながら近況を語り合う時間です。ここでの出会いをきっかけに事業者同士がコラボレーションしたり、移住してきた方が新たにイベントを知る機会にもなります。

このページでは、毎日にぎわっているOICの魅力をお伝えするため、「どのような企業が利用しているのか」「どんな取り組みが行われているのか」などを毎号ご紹介していきます！



第61回入居企業紹介 R-Style(アールスタイル)

今回は、R-Styleをご紹介します。代表の高橋良輔さんにお話を伺いました。



R-Styleは個人事業の屋号で、主にスタートアップ企業やベンチャー企業の伴走支援を行っています。高橋さんは学生時代から関心のあったIT分野でキャリアをスタートし、約20年間、プログラマーやシステムエンジニアとして開発・設計・インフラ構築に携わってきました。その後はクラウド活用の提案やコンサルティング、プロジェクトマネジメントも担い、幅広い経験を積んでいます。

ドローンの研究開発企業へ転職後は、ITの知見を活かしてデータ管理や解析、補助金申請業務を担当。事業支援のスキルを磨く中で浜通りとのつながりが生まれ、地域への思いを深めていきました。技術系スタートアップ企業から管理業務の支援を求められる機会が増えたことを機に、個人事業主「R-Style」として独立しました。

現在は、企業の補助金活用に関する包括的なサポートを中心に活動しています。申請書の作成支援から、採択後のプロジェクト管理、経理、関係機関との調整、報告業務までを担い、エンジニアや研究者が開発に専念できる環境づくりを支えています。

愛知県を拠点にリモートワークで業務を行いながら、月に1回ほど大熊町を訪れて現場確認や打ち合わせを実施。現在は「CREVA おおくま」などの施設も活用しています。

高橋さんは、大熊町や浜通り地域を単なる被災地ではなく、「新しい技術や人々が集まり、新しい社会を創造する場所」と捉えています。イノベーション・コースト構想に関連する人材や企業が集まり、地域の住民や事業者とつながることで、新たな価値が生まれる魅力的な集積地になりつつあると感じているそうです。

震災前の姿に戻す「復興」だけでなく、大熊町を中心に「新しい街」「新しい社会」「新しい経済」をつくり出していける町。多様な人々と関わりながら、自身もその一員として地域の未来づくりに貢献していきたいと話してくれました。

OICのイベント・セミナー開催情報ははこちらから！

ホームページから施設見学や会議室、グラウンドの予約も可能です。ぜひご利用ください！



Instagram



X



HP

大熊町からの

お知らせ



内容 日時 会場
 対象 費用 持ち物
 定員 申し込み方法
 申し込み 期限
 問い合わせ先
 電話番号 FAX
 ファクス メールアドレス
 ウェブサイト

お知らせ



介護保険料と国民健康保険税の特別徴収を再開します

介護保険料と国民健康保険税は年金からの天引きとなる特別徴収で納めることとなっています。

震災後中断していた特別徴収を10月から再開します。

賦課対象者は震災による減免措置に該当しない方や未申告の方、転入者の方です。

■特別徴収の対象となる方

◎介護保険料

4月1日時点で大熊町に住民票のある65歳以上の第1号被保険者の方で、年金の年額18万円以上を受給されている方

◎国民健康保険税

世帯内の国保被保険者全員が65歳以上75歳未満の世帯の世帯主で、年額18万円以上の年金を受給している方

ただし、介護保険料と国民健康保険税の合算額が年金受給額の2分の1を超える場合は特別徴収の対象になりません。

※年度途中で65歳になった方や転入された方などは一定期間は特別徴収の対象外となります。

問 福祉課 介護保険係

☎ 0240(23)7226

問 住民税務課 賦課係

☎ 0240(23)7154



介護



国保

気象庁が発表する防災気象情報が新しくなります



5月下旬(予定)から、防災気象情報が新しくなります。

特別警報や警報、注意報は、次の表のとおり災害に直結する名称に変わります。「警戒レベル」と「災害名」を用いることで、どんな災害がどれだけ迫っているか直感的にわかります。

災害から身を守るために、新しい情報をご活用ください。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

また、警報を補足する情報は緊急性の高い内容と今後の見通しを伝える内容に分けて、わかりやすくお伝えします。詳しくは、QRコードをご覧ください。

問 福島地方気象台 ☎ 024-534-6724

避難指示解除区域の固定資産課税台帳の縦覧と閲覧ができます



避難指示解除区域(中屋敷、大川原地区と特定復興再生拠点区域)の今年度の土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧と固定資産課税台帳の写しの交付を希望の方は住民税務課までお問い合わせください。

※帰還困難区域は、課税免除のため対象外

時 4月1日(水)～6月1日(月)
(土・日・祝日を除く)

■土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧制度

納税者の方が、他の土地・家屋の価格との比較を通じて自分の固定資産の評価が適正であるかどうかを判断できるよう、縦覧帳簿により必要な範囲内に限り町内(課税免除区域を除く)の土地・家屋の価格等を見ることが出来ます。

①縦覧できる書類

- ・土地価格等縦覧帳簿
- ・家屋価格等縦覧帳簿

※所有者の住所、氏名等は記載されません。また、縦覧帳簿の写し

は交付しません。

②縦覧できる人の範囲

- ・土地

避難指示解除区域(中屋敷、大川原地区と特定復興再生拠点区域)に所在する土地に対して固定資産税が課税されている納税者またはその代理人

- ・家屋

避難指示解除区域(中屋敷、大川原地区と特定復興再生拠点区域)に所在する家屋に対して固定資産税が課税されている納税者またはその代理人

■固定資産課税台帳の閲覧制度

縦覧期間中、納税者本人は自分の固定資産について、固定資産課税台帳(写し)の交付を無料で受けることが出来ます。

問 住民税務課 賦課係

☎ 0240(23)7154

特定復興再生拠点区域内の地域計画を策定しました



今後策定された地域計画をもとに営農が進められます。

また、地域計画が策定された農地を転用する際は、地域計画の変更が必要となりますので、お早めに農業振興課までご相談ください。

問 農業振興課 農政係

☎ 0240(23)7137

大川原交流ゾーン各施設の開館時間変更および臨時休業、ならびに駐車場規制のお知らせ



linkする大熊・ほっと大熊・おおくまーとで、大規模警備実施に伴い、4月6～7日に開館時間変更・臨時休業します。

併せて、施設駐車場の利用規制を行いますので、ご利用の際はご注意ください。

また、周辺道路では福島県警による交通規制も実施されます。交通規制に伴い、大熊町生活循環バスおよびデマンドタクシーにも運休が発生します。

休業および規制等の詳細は、町ホームページでご確認ください。

なお、時間帯は多少変更となる可能性があります。ご不便、ご迷惑

をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願ひします。

■施設に関すること

問 ゼロカーボン推進課 産業振興係

☎ 0240(23)7597

■生活循環バス、デマンドタクシーに関すること

問 生活支援課 生活支援係

☎ 0240(23)7444

生活循環バスのダイヤが変更になりました

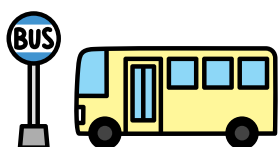


町内を走る生活循環バスのダイヤが、4月1日から一部変更になりました。

詳細は町ホームページまたは各停留所の時刻表をご覧ください。

問 生活支援課 生活支援係

☎ 0240(23)7444



今月は婦人科検診予約期間です

4月から令和8年度婦人科検診の予約が始まります。

電話予約とWeb予約で受け付け期間が異なるのでご注意ください。詳細は3月下旬に対象者へお送りした通知をご確認ください。

Web申し込みはQRコードから申し込みください。

Web予約

4月1日(水)～30日(木)

電話予約

4月14日(火)～24日(金)

問 受け付けコールセンター

☎ 0120(489)290

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419



HP



WEB
申し込み

スマートフォンにマイナンバーカードの情報を入れることができます



お持ちのスマートフォンにマイ



基盤整備工事に伴う4月以降の通行止め箇所について

下野上地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設事業の基盤整備工事および、道路等工事のため通行止めを行っています。通行の際は、現地の案内看板等のご確認をお願いします。

■ 4月以降の通行止め箇所図



【凡例】
■：通行止め

問 UR 都市機構 東北震災復興支援本部
大熊復興支援事務所 ☎ 0246(38)8127

問 復興事業課 建設係 ☎ 0240(23)7019

ナンバーカードの情報を入れることで証明書の発行等がスムーズに行えるようになります。登録方法などの詳細はQRコードからご覧ください。

問 住民税務課 住民係

☎ 0240(23)7146



出荷制限の指示が出されている野生きのこ・山菜は出荷や譲渡はできません



県内で採取された野生きのこ・山菜等は一部の自治体を除き、県内すべての市町村に出荷制限の指示が出されています。出荷制限の指示が出されている市町村で採取

した野生きのこ・山菜等は、出荷および譲渡しないでください。

※検査の結果、野生きのこ・山菜等の放射性物質量が仮に100ベクレル/kg以下の場合でも、出荷および譲渡できませんのでご注意ください。

問 農業振興課 農政係

☎ 0240(23)7137

住民意向調査の結果を公表します



昨年実施しました、「令和7年度大熊町住民意向調査」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

調査結果(速報版)が、1月16日に公表され、速報版の冊子を月号の広報紙に同封しました。結果は詳細に分析し、各種施策に活用します。

今回同封の速報版に掲載のない設問や詳細な調査結果は、復興庁や町のホームページ等で公表している詳細版報告書をご覧ください。

問 企画調整課 企画調整係

☎ 0240(23)7584

大熊町民号に関するアンケート結果を公表します



昨年実施した大熊町民号に関するアンケートは344人からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果は町ホームページ

ジに掲載していますのでご覧ください。

なお、「参加したくない」方が「参加したい」方を上回ったこと、また十分な参加者数が見込めないことから、今年度の再開を見送り、令和9年度以降の再開に向けて検討します。

早期の再開を楽しみにしていた皆さまには大変申し訳ありませんが、町は引き続き検討を進めますので、ご理解をお願いします。

問 企画調整課 企画調整係

☎ 0240(23)7584

無人ヘリコプターを用いた環境放射線モニタリングを行います



町内の一部地域で、無人ヘリコプターを用いた環境放射線モニタリングを行います。

作業の都合上、上空約80mを無人ヘリコプターが飛行します。ご理解とご協力をお願いします。

時 4月上旬～10月下旬(予定)

場 野上山神地区から夫沢東台地区周辺

問 日本原子力研究開発機構
☎ 0244(25)2072

おおくまスポーツクラブの本格的な活動を再開します



おおくまスポーツクラブは今年度から本格的な活動を再開します。子どもから高齢者まで、誰もが気軽に参加できるクラブづくりを進めていきます。

また、おおくまスポーツクラブの新規会員を募集します。

興味のある方は、問い合わせ先まで連絡ください。

問 おおくまスポーツクラブ

☎ 070(6482)8419

✉ okuma-sc@outlook.jp



募集・イベント



大熊町文化団体連合会への加入団体を募集しています



東日本大震災以降、活動を休止していた大熊町文化団体連合会は、今年度から活動を再開します。活動再開に伴い新規団体を募集しますので、現在活動している団体がありましたら、ぜひご加入ください。詳細は町ホームページをご覧ください。

対町内の各種文化団体(避難先で活動する団体含む)

期 随時募集

申 電話かメールで

問 生涯学習課 社会教育係

☎ 0240(23)7194

✉ shogaigakusyu@town.

okumafukushima.jp

コミュニケーションサロンを開催します



学び舎ゆめの森で毎月、コミュニケーションサロンを開催しています。物づくりなどのワークショップを行うほか、カフェコーナーや本の貸し出しなどを行います。詳細は町ホームページをご確認ください。

時 5月1日(金)
午前9時～午後3時

※4月22日(水)、23日(木)の午前中はカフェのみのminiサロンを開催します！

場学び舎ゆめの森

(大川原南平2019-1)

対どなたでも

費無料

申不要

問生涯学習課 社会教育係

☎0240(23)7194

大阪大学が無料の町民講座を開催します



大阪大学は、科学・医療・環境・エネルギー・社会課題など、さまざまなテーマについて専門家がわ

かりやすく解説する町民講座を4回開催します。

研究の最前線の話から身近な疑問まで、幅広く取り上げていく予定です。どなたでもお気軽にご参加ください。

内第1回テーマ

放射線と生活ー身近な放射線の疑問を考えるー

講師

大阪大学 特任教授 中島裕夫

時 5月29日(金)午後6時～7時30分、5月30日(土)午前10時～11時30分

※両日は概ね同内容ですが、開催形態は回ごとに調整する場合があります。ご都合のよい回にご参加ください。オンライン視聴(Zoom)も可能です。

場 大熊町連携大学等研究・支援センター(大阪大学福島拠点)

(下野上字清水309)

対どなたでも

費無料

期 各回1週間前まで

申必要。QRコードから

問 大阪大学福島拠点

☎080(4664)8986

春のおおくままちなかウォーキング



今年もCREVAおおくまに鯉のぼりを掲揚します！たくさんの鯉のぼりと日々変化する町並みを見ながら、春の大熊町を歩いてみませんか？

内 まちなかウォーキング、豚汁・玉こんにゃくのふるまい、ミニゲーム

時 4月11日(土)
場 CREVAおおくま

(下野上字大野116の5)

午前9時30分受け付け開始
午前10時開会式

費 300円

定 300人

申必要

問 おおくまコミュニケーションづくり実行委員会事務局

☎090(2952)5939

(土日祝日を除く、午前9時～午後5時)

●鯉のぼりを探しています！

ご自宅に使っていない鯉のぼり

はありませんか？イベントで掲揚

するため、ご協力いただける方は

問い合わせ先までご連絡ください。一緒にウォーキングを盛り上げましょう！

大熊町民トレッキングを開催します



大熊町民トレッキング参加者を募集しています。

自然を感じながら楽しく歩きますか。ご家族・ご友人との参加も大歓迎です！

また、大熊町役場から無料バスが出ます！お気軽にお申し込みください。

時 5月16日(土)

・大熊町役場発 午前7時集合・出発 ※バス定員20人

・現地集合 午前9時30分集合

場 東吾妻山(耶麻郡猪苗代町)

対 大熊町民、町内にお住まいの方

持 動きやすい服装、軽食、飲料水

期 4月30日(木)

申 電話またはメールで

問 生涯学習課 スポーツ振興係

☎0240(23)7518

✉ shogaigakusyu@town.

okumafukushima.jp

福島広域雇用促進 支援協議会から



職場体験実習 参加者大募集！

「この仕事できるかな!?」、「実際の職場の環境に触れてみたい!」、「自分のスキルが活かせるのか確認したい!」そんな方にオススメなのが職場体験!お申し込み随時受け付け中!

詳細はQRコードをご覧ください。

問 福島広域雇用促進支援協議会
福島統括窓口

☎024(524)2121

環境省 福島地方環境事務所
からのお知らせ

中間貯蔵施設見学 会を開催します



時 4月17日(金)、18日(土)

申 中間貯蔵事業情報センター

☎0240(25)8377

問 福島地方環境事務所 中間貯蔵

部 中間貯蔵総括課

☎024(563)1293

大熊町いわき会



内 総会

時 4月9日(木)午前10時〜

場 いわき市泉公民館(いわき市泉

町4丁目13-11)

費 500円(弁当代として)

申 必要

問 宮本明

☎090(5188)8163

おおがわら会



内 ネットカフェームおおくま、い

ちご摘み取り体験

時 5月2日(土)午前9時20分〜

場 大熊町役場駐車場集合(出発9

時40分)

定 40人

費 高校生以上800円

小学生500円

未就学児無料

申 必要

問 山本千代子

☎090(7072)6611

※平日午前9時〜午後5時まで

おおくま中通り会



内 4月交流会「総会&レクリエー

ション」

時 4月17日(金)午前10時

場 中通り連絡事務所

費 500円(昼食・お土産付き)

申 必要

期 4月7日(火)

問 斎藤重征

☎090(8423)6515

問 鈴木久友

☎090(3368)8919

熊川区総会の お知らせ



時 4月18日(土)〜19日(日)

※宿泊で実施します。日帰りも可能です。

場 五浦観光ホテル

(茨城県北茨城市大津町722)

期 4月10日(金)まで

問 宇佐見忠

☎090(8251)4667

問 鎌田恭行

☎090(7792)9119

下野上2区総会・ 懇親会のお知らせ



時 4月19日(日)〜20日(月)

場 いわき湯本温泉吹の湯旅館

(いわき市常磐湯本町吹谷48)

詳細は郵送したハガキをご確認ください。

問 山本三起子

☎090(7028)2327

町区総会・懇親会 のお知らせ



詳細は案内はがきをお送りします。ご参加をお待ちしています。

時 5月16日(土)〜17日(日)

1泊2日

総会 午後3時〜

懇親会 午後6時〜

場 いわき市湯本温泉吹の湯旅館

(いわき市常磐湯本町吹谷48)

費 2000円

期 5月8日(金)

問 区長・加藤直人

☎090(2975)4423

クローバークラブ



内壁掛けきめこみ制作

時 4月16日(木)午前10時〜

場 中通り連絡事務所 会議室

費 1500円

持 ハサミ

定 10人

期 4月7日(火)

問 阿部智英子

☎ 090(6259)7933

おおくまPG協会 「春の大会」を開催 します



おおくまパークゴルフ協会主催
の「春の大会」を開催します。

大熊町民パークゴルフ愛好者の皆
さま、多数のご参加をお待ちして
います。

時 4月18日(土)※小雨決行

午前8時30分受け付け 8時50

分開会式

場 広野町二ツ沼総合公園パークゴ
ルフ場(広野町下北迫字大谷地原
65-13)

費 500円※当日納入してください。
い。昼食等は各自ご準備ください。
期 4月7日(火)まで

問 佐藤秀一

☎ 080(6048)9938

問 新藤建次

☎ 090(5185)1245

問 鈴木文雄

☎ 080(3718)9793

問 末永勝雄

☎ 090(7072)5284

駅前地区



① 内パークゴルフ大会

時 5月23日(土)

午後0時30分集合、1時開始

場 広野町二ツ沼総合公園パーク

ゴルフ場(広野町下北迫字大谷

地原65-13)

期 4月25日(土)

② 内ゴルフ大会

時 5月30日(土)

午前8時集合、8時30分開始

場 バイロンネルソンカントリー

クラブ(いわき市渡辺町上釜戸

子繁130-2)

期 4月30日(木)

問 中里

☎ 090(9535)8404

問 中島

☎ 090(9539)1245

問 栃本

☎ 090(6224)3253

補助・助成



食事助成券を交付 します



町は、町内にある食堂を利用す
る方に、食事1回あたり700円
の助成を1人につき期間中最大4
回まで行います。対象食堂の営業
時間は町ホームページをご覧ください。

■対象者

・申請時に大熊町に住民登録のあ
る方

・2011(平成23)年3月11日に

大熊町に住民登録のあった方

■対象食堂

・大熊食堂

・和食さかい

・軽食・喫茶レインボー

移住定住をサポート！

町移住定住支援センターの最新情報はこちら▶



● くまジョブ(求人情報サイト)

● 交流農園利用希望者説明会を開催！

時 4月25日(土)午前10時〜 場 linkる大熊

問 大熊町移住定住支援センター ☎ 0240(23)7103

・十川食堂

・コミュニティキッチン 090

・食事処 池田屋

・FUN EAT MAKERS i

Okuma

・Panier

・京都ラーメンおおきに大熊店

・葦駄天-DATENおおくま店

■利用期間

4月1日(水)～令和9年3月31

日(水)

■申請方法

①生活支援課窓口または各出張所・連絡事務所で助成券の交付申請をしてください。

②交付申請の際、身分証で本人確認を行います。

■利用方法

①必ず食事前に助成券を利用店舗へ提出してください。食事後は利用できません。

②助成券は1人1枚ずつしか利用できません。

③助成券は、助成金額を超える場合のみ使用できます。

■注意事項

・有効期限が過ぎている助成券は使用できません。

・一度交付した助成券は再交付できません。

問 生活支援課 生活支援係

☎ 0240(23)7444

健康



RSウイルスの定期接種を開始します



国の審議会にて決定を受け4月1日から、妊婦の方を対象としたRSウイルス定期接種を開始する予定です。

対象となる方には、町から接種に必要な予診票等個別通知しますので、詳細は通知をご覧ください。

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419



新保副町長が退任

2022(令和4)年から副町長を務めた新保隆志氏が3月31日付けで副町長職を退任しました。

○新保氏から



いまだ町の半分が帰還困難区域となっているなど多くの課題を抱える一方で、令和6年1月から町の第三次復興計画の期間がスタートし、令和7年3月には大野駅前に産業交流施設「CREVAおおくま」や商業施設「クマSUNテラス」がオープンするなど、町の復興が目に見える形になってまいりました。

また、学び舎ゆめの森の子どもは100人を超え、帰還・移住者も増えてきているほか、民間企業立地の動きも進むなど、少しずつ町にぎわいが戻ってきており、大熊町の未来は明るいものと信じています。

町民の皆さまには大変お世話になりました。今後も町の復興を応援してまいります。

新副町長に武田善幸氏(44)

大熊町副町長に県職員の武田善幸氏(44)が就きました。任期は4月1日から4年間です。

○略歴

武田氏は浪江町出身で東北大学法学部卒。平成17年に県採用となり、土木総務課、財政課、人事課、商工総務課で勤務しました。

大熊町の副町長職は定数2人で、吉岡健太郎副町長と武田氏の2人が務めます。

○武田副町長から



震災と原発事故から15年が経過しました。復興の進捗に伴って生じる新たな課題やニーズにしっかりと対応できるよう、副町長として吉田町長を補佐し、議会をはじめ関係団体の皆さまとの連携を密にしなが、大熊町の復興に力を尽くしてまいりますので、よろしくお願ひします。

予防接種の種類	対象者
任意予防接種	
風しん抗体検査 風しん・麻しん予防接種	妊婦の配偶者・同居者、妊娠希望の女性、妊娠を希望する女性の配偶者・同居者
带状疱疹	初めて接種する50歳以上の方で接種日に町内に住民登録を有する方

■高齢者

予防接種の種類	対象者
定期予防接種	
高齢者インフルエンザ	①65歳以上の方 ②60歳以上65歳未満の方で、心臓や腎臓、呼吸器の機能に障がいがあり、身の回りの生活を極度に制限される方
新型コロナウイルス	③60歳以上65歳未満の方で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な方
高齢者肺炎球菌	①65歳の方(65歳の誕生日から66歳の誕生日前日まで)で初めて接種する方 ②60歳以上65歳未満の方で、心臓や腎臓、呼吸器の機能に障がいがあり、身の回りの生活を極度に制限される方 ③60歳以上65歳未満の方で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な方
任意予防接種	
高齢者肺炎球菌	初めて接種する方で定期接種の対象にならない66歳以上の方

文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター (ADR センター) からののお知らせ

原発事故から15年が経過し、関係資料が失われたり、被害の記憶が薄れたりすることが懸念されます。気になることがあれば、当センターをお早めにご活用ください。

通常の窓口に加えて、**弁護士等と話せる平日夜間・土曜窓口も開設します** (ご利用は無料)。福島事務所での対面の他、ご自宅等から電話・オンラインでも利用可能です。

詳しい利用(予約)方法は
こちらから



問 原子力損害賠償紛争解決センター

☎ 0120-377-155 (年末年始を除く平日午前10時～午後5時)

消防署から

問 富岡消防署 予防係 ☎ 0240(22)2119

昨年の双葉郡内の火災発生状況

- 総出火件数 **25**件 (前年比12件増加)
 - 火災による死傷者 **6**人
 - 建物火災 **9**件
- 1～3すべて震災後、最多の数値です。特に春は空気が乾燥し、火災が発生しやすく、強風で延焼拡大しやすい季節となりますので、**火の元に注意**しましょう。

双葉郡内での火災事例と対策

1 たき火が山や建物へ延焼

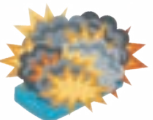
対策

- ①たき火前に消火準備をしておく
- ②たき火後、水で完全消火する
- ③**林野火災警報**発令中は、絶対にたき火をしない

2 モバイルバッテリーからの出火

対策

- ①リコール製品は使用しない
- ②膨張したものは使用しない
- ③**目の届く範囲で充電**する



予防接種の費用を助成します

問健康保険課 保健衛生係 ☎ 0240 (23) 7419



子ども



成人・
高齢者

- **定期予防接種** 積極的勧奨対象の方に個人通知をしています。
- **任意予防接種** 接種を希望する方は、申請書を送付しますのでご連絡ください。
なお申請書は各出張所や連絡事務所に備え付けてあり、ホームページでもダウンロードすることができます。

■子ども

予防接種の種類	対象年齢
定期予防接種	
五種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風、不活化ポリオ、ヒブ感染症)	2カ月～7歳6カ月
ヒブワクチン	2カ月～5歳未満
四種混合【DPT-IPV】 (ジフテリア、百日せき、破傷風、不活化ポリオ)	2カ月～7歳6カ月未満
二種混合(ジフテリア、破傷風)	11歳～13歳未満
B型肝炎ワクチン	1歳未満
小児肺炎球菌ワクチン	2カ月～5歳未満
ロタウイルス	1価：2カ月～6カ月
	5価：2カ月～8カ月
BCG(結核)	1歳未満
麻しん・風しん混合	1期：1歳～2歳未満
	2期：5歳～7歳未満(小学校入学前)
水痘	1歳～3歳未満
日本脳炎	1期：6カ月～7歳6カ月未満
	2期：9歳～13歳未満
子宮頸がん予防ワクチン(ヒトパピローマウイルス)	小学校6年生～高校1年生の女子
任意予防接種	
おたふくかぜ	1歳～7歳未満の小学校就学前の幼児(1人1回)
小児インフルエンザ	生後6カ月～中学3年生 ※広報10月1日号でお知らせします

■成人

予防接種の種類	対象者
定期予防接種	
RSウイルス	大熊町に住民登録がある妊婦で、妊娠週数が28週0日目から36週6日目までの方
带状疱疹	年度内に65歳になる方で、今回はじめて接種する方 ・年度内に60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な方 ・年度内に70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳を迎える方で、今回はじめて接種する方

町員大職人事異動

4月1日付()内は旧任

○参事職

- ・参事兼議会事務局長 沢原寛(参事兼環境対策課長)

○課長相当職

- ・環境対策課長 沢内和彦(農業振興課長)
- ・農業振興課長 松本清之(議会事務局局長)
- ・企画調整課主幹兼課長補佐 木幡敦重(教育総務課主幹兼課長補佐兼子ども教育係長)
- ・住民税務課主幹兼課長補佐 愛場学(住民税務課主幹兼課長補佐兼管理徴収係長)
- ・健康保険課主幹兼課長補佐兼医療事務係長 斎藤陽介(ゼロカーボン推進課総括主任兼ゼロカーボン推進課総括主任兼ゼロカーボン推進係長)

- ・教育総務課主幹兼課長補佐兼子ども教育係長 中藤博之(健康保険課主幹兼課長補佐兼医療事務係長)

○課長補佐相当職

- ・企画調整課総括主任兼地域振興係長 渡辺拓也(企画調整課主任主査)
- ・ゼロカーボン推進課総括主任兼ゼロカーボン推進係長 東裕行(企画調整課総括主任兼地域振興係長)
- ・住民税務課総括主任兼賦課係長 佐伯竜平(福島県派遣)
- ・住民税務課総括主任兼管理徴収係長 佐久間秀幸(住民税務課総括主任兼賦課係長)
- ・福祉課総括主任兼福祉係長 植田しのぶ(健康保険課総括主任兼国保年金係長)
- ・福祉課総括主任兼介護保険係長 石田麻美(福祉課主任主査)
- ・健康保険課総括主任兼国保年金係長 佐藤由香(出納室総括主任兼出納係長)
- ・環境対策課総括主任兼生活環境係長 二階堂雄二(生活支援課主任主査)
- ・環境対策課総括主任兼消防交通係長 高橋亮(環境対策課総括主任兼生活環境係長)

- ・出納室総括主任兼出納係長 志賀知美(福祉課総括主任兼介護保険係長)

○係長相当職

- ・生活支援課主任主査 末永暁久(企画調整課主任主査)
- ・復興事業課主任主査 益子匠(いわき出張所主任主査)
- ・いわき出張所主任保健師 那須留美(健康保険課主任保健師)

○主査

- ・総務課主査 井戸川春人(住民税務課主査)
- ・健康保険課主査 片山知也(農業振興課主査)
- ・健康保険課副主任保健師 斎藤優貴(中通り連絡事務所副主任保健師)
- ・いわき出張所主査 成田裕(復興事業課主査)
- ・教育総務課主査 猪狩風香(生活支援課主査)

○主事

- ・企画調整課主事 草野将輝(住民税務課主事)
- ・住民税務課主事 中井悠人(総務課主事)

- ・農業振興課主事 渡辺菜々子(健康保険課主事)

○派遣出向

- ・おおくままちづくり公社 吉田健一(企画調整課主幹兼課長補佐)

○新採用

- ・住民税務課主事 遠藤愛佳
- ・福祉課総括主任 青木和典
- ・復興事業課総括主任 荒川博
- ・復興事業課技師 伊藤美菜穂
- ・生涯学習課副主幹 遠藤隆一

○退職 3月31日付

- ・ゼロカーボン推進課主幹 羽田康浩
- ・ゼロカーボン推進課主事 矢部楓
- ・住民税務課主査 古川賢一郎
- ・福祉課総括主任兼福祉係長 木村晃大
- ・環境対策課総括主任兼消防交通係長 松岡克己
- ・農業振興課主査 岡田拓斗
- ・復興事業課総括主任 根本晃英
- ・復興事業課総括主任 菅原勝
- ・教育総務課主事 須田彩貴咲
- ・生涯学習課副主任学芸員 苧坪祐樹



柏崎 佑哉
(公認心理師)



松永 妃都美
(保健師)



折田 真紀子
(保健師)

教えて おおちゃん 放射性物質

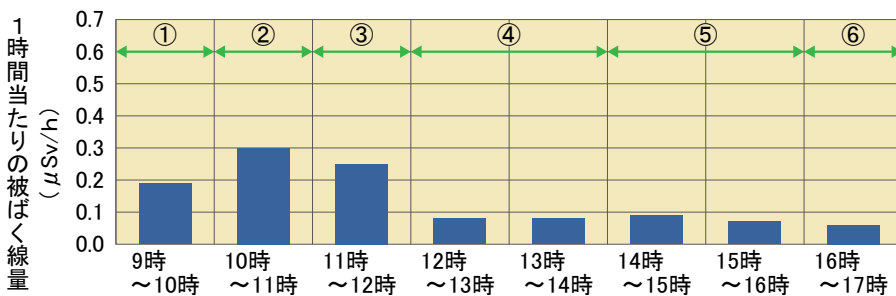


何かと疑問の多い放射性物質について、長崎大学の専門家の皆さんが解説します。

私たち長崎大学は、大熊町で復興支援活動の一環として毎月「放射線と健康」をテーマとした連載を掲載しています。

今回は大熊町を訪問することを想定した被ばく線量について、(公財)原子力安全研究協会が測定した結果をご紹介します。これは個人線量計(D-シャトル)を職員が身に付けて町内に滞在することで、1時間あたりの被ばく線量を評価したものです。

午前9時から午後5時の間に町内の各地に訪れた結果、場所によって被ばく線量が異なることがわかります。CREVAおおくまをはじめとした大野駅周辺、linkる大熊といった生活圏は線量が十分に低減化されており、日本の他の地域とも大きく変わらない線量となっていました。この間に受けた線量の合計は1.12μSv(マイクロシーベルト)で、この値は胸部エックス線検査で受ける被ばく量(約50μSv)の50分の1程度です。仮に週に1回程度、大熊町を訪れる場合は1年間で約58μSv、毎日訪れる場合は408μSvとなる計算です。私たちは自然界の放射線によって1年間に約2mSv(ミリシーベルト)=2000μSvの被ばくをしています。このことから、大熊町の居住可能エリアに滞在することによって受ける線量は、心配におよばないレベルとなっていると言えます。



個人線量計(D-シャトル)

【測定日：令和7年9月6日】

滞在時間	場所	被ばく線量
① 午前 9時～10時	大熊町ふるさと再興メガソーラー発電所	0.19 μ Sv
② 午前 10時～11時	旧大野村役場庁舎跡	0.30 μ Sv
③ 午前 11時～正午	諏訪神社	0.25 μ Sv
④ 正午～1時	クマSUN テラス(昼食)	0.08 μ Sv
④ 午後 1時～2時	CREVA おおくま(周辺散策)	0.08 μ Sv
⑤ 午後 2時～3時	駅からさくらモール	0.09 μ Sv
⑤ 午後 3時～4時	さくらモールからlinkる大熊	0.07 μ Sv
⑥ 午後 4時～5時	linkる大熊、ほっと大熊	0.06 μ Sv

協力：公益財団法人原子力安全研究協会

長崎大学は、放射線被ばくと健康についてのご相談をいつでもお待ちしております。大熊町役場健康保険課 (☎ 0240-23-7419) を通じてお気軽にお問い合わせください。

教えて すこやかライフ

通いの場のご紹介

大熊町の「通いの場」は
こちらから▶

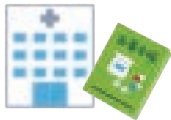


知っておきたい認知症の基本！
「レビー小体型認知症」は異常なたんぱく質が脳にたまって、脳の働きに影響を与えることで起こる認知症で、幻視や体の動きの障がい特徴です。

介護事業所・生活関連情報検索 -介護サービス情報公表システム-



全国約 21 万カ所の「介護サービス事業所」の情報が検索・閲覧できます。
お住まいの地域にどんなサービスを提供しているところがあるのか、知りたいときなどにご活用ください。



「医療機関、薬局」も
検索できる！

最寄りの「包括支援センター」
や、「ケアマネージャー」
を探すのにも



介護の認定申請

介護保険料
の納付は
40歳から



【介護サービス】

- ・利用者は費用の1～3割を自己負担
- ・残りの7～9割は、みんなの保険料と税金でまかなわれてるんだ！

申請できるのは…

65歳以上の人、または40歳以上で特定の病気がある人が対象。

認定されると…

- 要支援1～2、要介護1～5の区分が決まって、必要なサービス(デイサービス、訪問介護など)を利用できる！



回復も視野に入れて！

- 認定はずっと続くわけじゃなくて、**定期的に見直し**があるよ。
- リハビリや生活の工夫で**状態が改善すれば、認定が軽くなったり、外れたりすることもあるんだ！**

「受けっぱなし」がいいとは限らない！

- 本人の力を引き出すことも大切。
- 必要以上の支援は、かえって自立の妨げになることもあるから、「**できることは自分で**」が基本だよ！

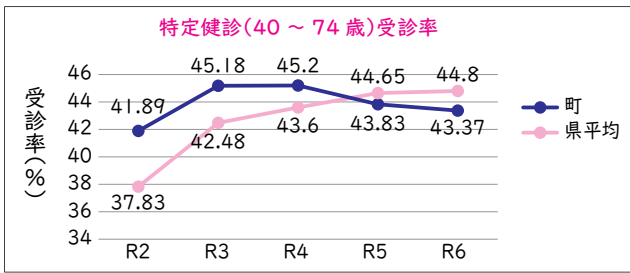


「介護認定は“支えるため”の制度。だけど、回復のチャンスがあれば、それを活かすことも大切！」

介護の相談は、最寄りの包括支援センターへ

大熊町の健康について、最新情報をお伝えします。

●特定健診受診率は県の平均を下回り、目標の50%に到達していない状況です。

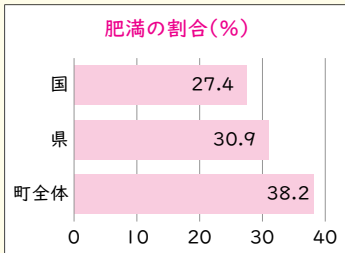


今年も健診を受けましょう。
 5月に健診予約案内を郵送します。受付期間内に電話かWEBでお申し込みください。
 20歳以上の方は、年代に応じた必要な検査を受けられます。



※令和6年度法定報告(確定値)および
 KDB[R6年度メタボリックシンドローム該当者・予備軍]より

●肥満が男女ともに国・県より多い状況が続いています。

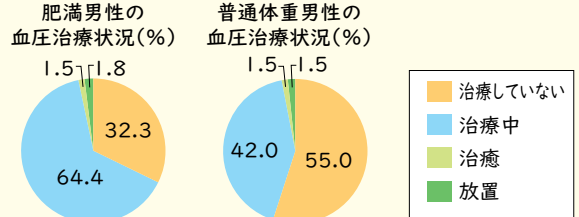


※KDB[R6年度健診有所見者状況]より

肥満は身長と体重の割合で判断されます。
 あなたは低体重・普通体重・肥満のどれにあてはまりますか？

身長 (cm)	低体重 (kg)	普通体重 (kg)	肥満 (kg)
145	~38	39~52	53~
150	~41	42~56	57~
155	~44	45~59	60~
160	~47	48~63	64~
165	~50	51~67	68~
170	~53	54~72	73~
175	~56	57~76	77~

●男性の肥満の有無による血圧治療状況の比較です。



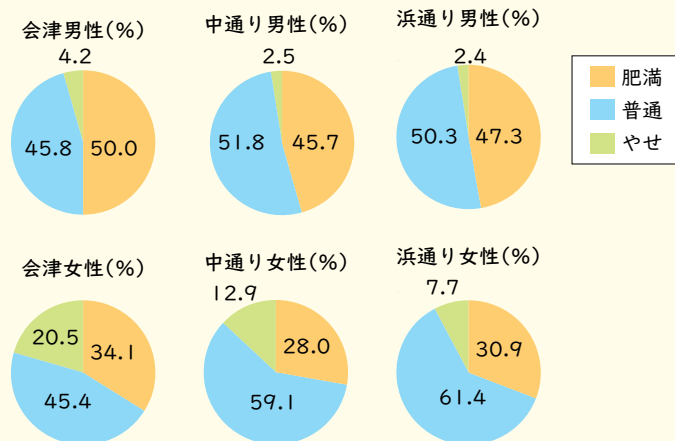
肥満は血圧が高くなる要因です。内服の有無にかかわらず、減塩と腹八分目をこころがけ、普通体重を目指しましょう。

推定塩分摂取量	男性	女性
町の平均値	9.4g	9.4g
国の目標値	7.5g	6.5g
高血圧治療中の目標値	6.0g	6.0g

※R7年度総合健診結果より

総合健診では血圧に大きく影響する推定塩分摂取量を測定しています。

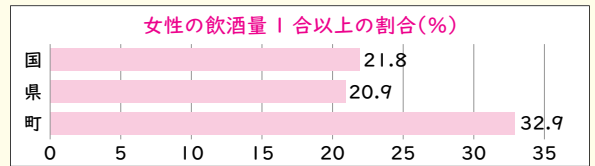
●肥満の避難先別割合です。



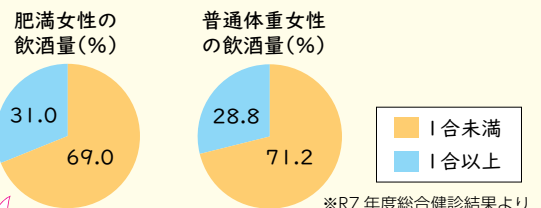
※R7年度総合健診結果より

どの地区も男性の約半数、女性の約3分の1が肥満でした。会津地区の肥満の割合がやや多いです。

●女性の飲酒量が国・県と比較して多い状況です。



※KDB[R6年度質問票調査の経年比較]より



※R7年度総合健診結果より

飲酒の習慣は、摂取エネルギー量が増え、体重増加に関係します。また、飲酒は血糖値にも影響するため、普通体重でも飲酒の量や頻度には注意が必要です。

母子健康手帳交付希望の皆さまへ ご妊娠おめでとうございます

大熊町子ども家庭センター **おおくまっこ** は、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援のため母子健康手帳の交付時に、保健師等の専門職が妊婦さんの体調や心配事のお話をうかがいます。

母子健康手帳交付希望の方は日程調整をしますので本庁舎・各出張所に連絡ください。

母子手帳の交付を受けた福島県外の妊婦さんへ

今後町から送付するものがありますので、健康保険課 保健衛生係までご連絡ください。

また、福島県内への里帰り出産をされる方についてもご連絡ください。



子育て支援アプリ
 「すくすく♡おおくまっこ
 by 母子モ」



秋葉神社のオサガリ

町区に鎮座する初発神社の境内には、古くから「火伏せの神様」として親しまれてきた秋葉神社が祭られています。この秋葉神社の祭礼として、行われていたのが「オサガリ」です。

「オサガリ」とは熊地区特有の呼び方で、みこしにのった神様が浜へ下って潮をとり、再び神社へと戻る「お浜下り」の神事を指します。これは秋葉神社に限らず、福島県の浜通り地域に広く見られる伝統的な祭礼の形です。



▲「オサガリ」の様子

かつては祭日の2月18日に実施されていましたが、時代とともに3月中の土日へと開催日が移行していきました。当日は町区の人々がみこしを担いで行列を作り、神社から現在の熊川海水浴場までを活気ある様子で往復しました。浜に到着すると、あらかじめ用意していた櫛を海水に浸し、その清められた櫛を神前に供えるのが習わしでした。

東日本大震災以降、この「オサガリ」は実施できていない現状にあります。しかし、浜通り地方に継承されてきたこの一連の祭礼は、文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選択を受け、その価値が改めて注目されています。これを受け、県教育庁文化財課と沿岸11市町村の文化財担当課が事務局となり、令和4年度から令和7年度にかけて、秋葉神社の祭礼を含む全数調査および記録作成事業が進められてきました。本年度は、この4年間にわたる事業の最終年にあたり、その成果として作成された調査報告書が刊行される予定です。

各種問い合わせ先

(記載のない市外局番は0240です)

ゼロカーボン

町ゼロカーボン補助金制度事務局
☎0120-978-820

医療・福祉

町診療所
☎23-7170
ふたば医療センター附属病院
☎23-5090

町社会福祉協議会

☎23-5171

教育

認定こども園 学び舎ゆめの森
☎23-4462
義務教育学校 学び舎ゆめの森
☎23-5341

商工・観光・交流

町観光協会
☎23-7101
町インキュベーションセンター
☎23-7721
町商工会
☎23-7380
交流施設 linkる大熊
☎23-7676
宿泊温浴施設ほっと大熊
☎23-5767
CREVAおおくま
☎41-9959
クマSUNテラス
☎41-9948

移住定住・帰還支援

町移住定住支援センター
☎23-7103
おおくままちづくり公社
☎23-7101

郵便

大熊郵便局
☎32-2222

警察・消防

双葉警察署
☎22-2121 (緊急通報 110)
富岡消防署
☎22-2119 (緊急通報 119)
災害情報専用テレホンサービス
☎26-0366

電気

東北電力コールセンター
☎0120-066-774

ガス

福島県LPガス協会 相双支部
☎0244-22-1141

上水道

双葉地方水道企業団
☎25-5323
(下水道は町役場復興事業課)

電話

NTT 東日本相談申し込みダイヤル
☎116

ごみ

双葉地方広域市町村圏組合
南部衛生センター
☎25-4609

除染・中間貯蔵施設

除染と中間貯蔵施設に関する問い合わせ窓口
☎0120-027-582
一時立ち入りコールセンター
☎0120-220-788



こんにちは赤ちゃん

こどもの名	親の名	住 所
志 賀 帆 倅	貴 浩・茉利子	熊 町
門 馬 紬 生	一 徳・知 世	中 央 台
杉 谷 優 介	直 紀・貴 子	西大和久
佐 藤 志 優	賢 太・あゆみ	大 野



おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住 所
吉 田 照 子	97 歳	湯 の 神
池 田 光 子	76 歳	新 町
半 谷 トシ子	78 歳	清 水
發 田 俊 昭	76 歳	新 町
片 井 雅 彦	64 歳	諏 訪
村 上 伴 子	75 歳	北 向

令和8年2月届出

広報はホームページでもご覧いただけます。

広報おおくまは町ホームページでも公開しています。パソコンやスマートフォンからも町の情報をご覧いただけますのでぜひご活用ください。

大熊町 HP

Facebook

Instagram

LINE



問大熊町役場 総務課 秘書広聴係

編集後記

広報担当として2年が経ちました。取材や記事づくりを通して、町のさまざまな魅力や、文章で伝えることの大切さを改めて感じる事ができました。4月からは広報業務が主担当ではなく、兼務という形になります。これから、兼務も町の出来事や魅力を、これからお伝えしていきたいと思っております。これからも伝える広報紙を目指していきますのでよろしくお祈りします。(三瓶)

人のうごき

令和8年2月末現在



住民基本台帳

人 口 9,765人

世帯数 4,161世帯

町内居住者数

人 口 1,530人

(うち帰還者339人)

居住地ごとの状況は町ホームページをご覧ください。



町内の空間線量

(令和8年3月15日午前9時現在)

町内で空間線量を測定しているモニタリングポストの数値をお知らせします。

表は避難指示が解除された区域に設置している機器を抜粋して掲載しています。

町全体のデータは、町環境測定サイネージ、町ホームページからご確認ください。

測定地点名	空間放射線量 (μ Sv/h)	
中屋敷	0.10	
大熊町役場	0.08	
給食センター	0.15	
やすらぎ霊園	0.08	
野上二区集会所 ^{*1}	0.51	
大熊インキュベーションセンター (旧大野小学校)	0.12	
大熊町保健センター	0.27	
大野駅	0.13	
大熊町文化センター	0.29	
旭台公園	0.29	
学び舎ゆめの森	0.12	
大和久集会所 ^{*1}	0.35	
町区集落センター	0.45	
参 考	いわき市役所	0.06
	郡山市役所	0.07
	会津若松市役所 (追手町第二庁舎)	0.04

※機器調整中等のため直近の計測データを記載しています

※1 令和7年6月10日午後3時時点



おおくまカレンダー

今月の紙面情報をまとめました。
丸数字 (①など) は、
詳しい内容を掲載したページ番号です。

町内のゴミ回収日



可燃・紙



不燃・カン



ビン



ペット・プラ



▲分別方法は
コチラから

☐ 南部衛生センターごみ受入日 午前8:30~11:30

日	月	火	水	木	金	土
			1 ◎固定資産課税 台帳の縦覧・ 閲覧開始⑤ ◎生活循環バスの ダイヤ変更⑤ ♣婦人科検診 Web 予約開始⑩	2 可燃・紙	3 ペット・プラ	4
5	6 可燃・紙	7 	8 ビン	9 ■大熊町いわき 会⑨★	10 ペット・プラ	11 ●春のおおくま まちなかウォ ーキング⑩★
12 	13 可燃・紙	14 ♣婦人科検診電 話予約開始⑩	15 	16 ■クローバーク ラブ⑩★	17 ■おおくま中通 り会⑩★	18 ■熊川区総会⑩ ★(19日まで) ■おおくま PG 協会春の大会 ⑩★
19 ■下野上2区総 会⑩★(20日 まで)	20 可燃・紙	21 	22 ◎mini サロン ⑩(23日まで) 不燃・カン	23 可燃・紙	24 ペット・プラ	25 ■交流農園利用 希望者説明会 ⑩
26 	27 可燃・紙	28	29 昭和の日	30 ♪大熊町民ト レッキング申 し込み期限⑩ 可燃・紙	【実施団体】 ♪主なイベント ◎その他 ■各コミュニティ団体 ♣保健センター・介護事業 ●出張所・連絡事務所 ●おおくまコミュニティづくり実行委員会 (★マークがついているイベントなどは 予約が必要です)	

各施設等の
イベント情報は
こちらから
ご覧ください!

駅西交流エリア



大川原交流ゾーン



OIC



まちづくり公社



社会福祉協議会

